

2021 年度事業活動の総轄

みずべの苑施設長

2021 年度の事業活動は、新型コロナウイルス感染予防とともに進めた 1 年となりました。コロナ禍前に行っていた地域との交流をもとにした対外活動は「0」で、安全を最優先に事業活動を行いました。

重点課題は内部の体制整備を中心とした目標を掲げていましたが、コロナ対策と並行しながらの推進が進まず未達の事案も多くみられます。また、新型コロナウイルス感染や予防対策強化のため、事業運営を検討することとなり年度の途中で変更して対応しました。

変更の 1 点目は、特養の外部出入りのリスクを大きな理由として、混合利用であった 3 階居室のショートステイを 4 階のみに減床し、3 階は特養に転化しました。10 月より北区・東京都への申請手続きを行い、2022 年 2 月より特養 63 床となりました。それに伴いショートステイは 4 階 11 床の個室のみの運用に変えました。

2 点目は、単独型認知症デイサービス「あかり家」の稼働改善が図れず検討を重ねた結果事業所を閉じる決定をし、年度末には準備に入りました。「あかり家」は諸手続きを踏んで、2022 年度 4 月で終了となりました。

2 年目となった新型コロナウイルス感染対策の継続は、「4 波」「5 波」「6 波」ではサービス事業に少なからず影響を受けることとなりました。感染拡大防止のためにデイサービスでの営業を 2 週間停止の指示を受け、休業することとなりました。グループホームでのクラスターの発生で 1 か月余の活動の制限となりました。各事業所の職員家族からの感染報告は常時 1~2 名程度あり、感染者は 10 日間の休職、濃厚接触者は 7 日間の待機を指示し厳守してもらいましたが、現場業務は職員の努力により対応可能の範囲で経過することができました。

事業運営の変更および感染の発生に関する事故や苦情はありません。また、行政へ報告する事故報告も 0 件でした。苦情は 1 件ありましたが終息しています。

重点課題について

各事業所が共通して掲げた災害に対応する B C P の整備は、感染に関する B C P が先行し災害時 B C P 完成に至らず、2022 年度に持ち越して早急に策定を完成させます。また、人材育成への積極的な取り組みは行えず、2022 年度当初からの中堅管理者研修に継続して取り組みます。一方外国人留学生の育成と生活サポートは構築が進み 4 人のベトナム人が 2022 年度 4 月には専門学校卒業と常勤採用となりました。